

## 地域ぐるみの共同活動による保全活動

都市的地域

### にしまたの 27.西俣野環境保全向上の会（神奈川県藤沢市）

- 本地域は、二級河川境川の流域にまとまった農地を形成しており、市の中心的な農業生産の場となっていることから、将来にわたっての維持保全が必要である。
- 土地改良区が主体となり、地域ぐるみの共同活動により農業用施設の良好な安全管理に取り組んでいる。
- 地域住民との交流活動として、取水堰を利用した用水路の生き物観察や景観形成のための水路法面への植栽を行っている。また、老朽化が著しい農業用施設については、長期的な改修に取り組まなければならない時期に差しかかっており、活動組織自ら水路の更新活動に取り組んでいる。

【地区概要】平成20年度開始

・取組面積 37.81ha

（田 26.75ha、畑 11.06ha）

・資源量 用水路 4.3km、農道 6.6km

・主な構成員

農業者、土地改良区

非農業者（自治会）

農地維持支払

資源向上支払（共同）

資源向上支払（長寿命化）

### 地域の現状



地域ぐるみの  
農業用施設の  
点検・機能診断  
活動(4月)

地域ぐるみの水路周辺  
の草刈り・清掃  
(7,9,11月)



- 活動開始前から土地改良区が取水門や用排水路の掃除、点検補修等を行っていた。
- 維持管理費用は、市の補助があったものの、農業者の持ち出しも多々あり、厳しいこともあった。
- 地域の様々な団体による地域の環境保全活動があった。

### 取組の内容



水路の目地詰め



直営施行による水路  
の更新工事

- 土地改良区が主体となり、地域ぐるみで水路、農道周辺の点検、草刈り、初期補修等を実施。
- 老朽化の著しい農業用水路を機能診断し、漏水箇所の目地詰め等を実施。
- 生態系保全の啓発・普及や、農業への理解を深めることを目的に、田んぼや用水路の生き物観察会を実施。

### 取組の効果



取水堰や用水路  
の生き物観察会  
(8月、約60人)



非かんがい期を利用  
した菜の花の栽培  
(2月～4月)

- 米作が盛んな地区内の用水路、排水路の維持管理及び初期補修等を図り、**中心経営体の農作業の軽減に寄与。**
- 農地を利用した景観保全の取組により、都市的地域が**美しい田園風景に変化。**
- 生き物観察会は近隣の文教施設とも連携して実施されており、**地域の交流イベントとして定着。**